

登録コード	SE504300	開講年度	2026				
授業題目	進化生物学特論Ⅱ				担当教員	高橋 耕一 他	
英文授業名	Advanced Course in Evolutionary Biology Ⅱ				副担当	松本 卓也・笠原 里恵・東城 幸治・今津 道夫	
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学年	3年
講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 Sカリ, 2 5 Sカリ, 2 4 Sカリ, 2 3 Sカリ						
	【2023年度以降カリキュラム対象】 理学の各分野における専門知識				⇔	生物学の専門知識を習得できるようになる.	
	【2023年度以降カリキュラム対象】 専門知識や観察・実験などによって問題を理解・解決し、その成果を的確に他者に伝える力				⇔	セミナーにおいて、問題や研究成果を的確に他者に伝える力を習得できるようになる.	
	【2023年度以降カリキュラム対象】 理学の基礎知識と専門知識を活用して課題を発見し取り組み、その成果を社会に役立てる力				⇔	研究室のセミナーで能動的に発言できるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化、環境共生、多文化協働、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本科目は、3年次7月末に仮配属される研究室で8月から翌年3月末まで継続する。本科目の履修とは、卒業研究の基礎を得るための研究プロジェクトの遂行を意味する。これを実行して初めて、4年次の4月以降の継続が可能になる。この4年次4月以降の継続を卒業研究とよぶ。よって本科目は授業期間の終わる1月末には終わらない。本科目により、3年次8月から初めて体験する「時間割のない平日・休日・祝日」を使いこなす技を身につける。						
(5)授業のキーワード	進化、系統、多様性、生態、質問、発言、参加、報告・連絡・相談（これら三つの必須アクションはハウレンソウとよばれる）、学術、研究、計画、批判的読解、インパクトファクタ、国際誌、一流誌、学会、学会発表、投稿論文、査読						
(6)授業計画	本科目には時間割がない。その点で、3年次前期までの科目とはまったく異なる。3年次8月にまず、研究室・実験室の使い方、維持・管理のしかたをまず習得する。よって本科目には、夏休み、冬休み、春休みはない。3年次3月末まで継続する本科目の履修の成果をもとに、4年次4月末に行う研究計画検討会で卒業研究の学問的位置づけ・意義を自らの言葉で議論する。 授業アンケートに回答する。						
(7)成績評価の方法	文献読解セミナーとは別に行う仮配属先でのセミナーで定期的に研究プロジェクトに関して発表する資料の内容、指導教員への進捗状況に関する報告・連絡・相談（ハウレンソウ）の頻度、プロジェクトの成果にもとづいて評価する。						
(8)成績評価の基準	研究室で行うセミナーに出席するだけでは合格しない。合格するには、セミナーの事前・事後、すなわち次のセミナーではなく、その前に、担当教員とのハウレンソウ（報告・連絡・相談）ができるようになる必要がある。このハウレンソウを、生まれて初めて体験する「時間割のない毎日」（平日・休日・祝日を含む）に日常的に行うことができるようになるか否か、および主体的に何回行うことができたかに応じて評価する。セミナーの時間内に行ったハウレンソウはこの回数には含まれない。午前中に行った回数は午後に行った回数の2倍にして評価する。						
(9)事前事後学習の内容	生産的に本科目を履修し、成果を得るには、指導教員との日常的なハウレンソウを能動的に行うことができるようにならなくてはならない。このためには、指導教員の毎日のスケジュールを把握するという、基本的な事前事後学習が不可欠である。さらに、能動的に指導教員と対話できるようになるために、自分が周囲の誰に対しても例外なく挨拶ができていないか、自らの毎日について会話できているか、これらを点検し、できるようになるにはどうしたらよいかを考えることが、本科目の事前事後学習の根幹をなす。						
(10)履修上の注意	夏休み、冬休み、春休み、時間割はない。しかも就職活動と並行して行うことになる。それだけに生産的に履修の成果を得るには、指導教員との日常的なハウレンソウを能動的に行うことができるようになることが不可欠である。						
(11)質問,相談への対応	セミナーに出席するだけでは何も進まない。セミナーへの参加のしかた、本科目の履修のしかた、就職・進学活動と並行しての進め方、3年次3月末まで自らの興味を深化するスケジュールについて、指導教員と日常的に気軽にハウレンソウをできるようになることが何よりも大切である。						
【教科書】	特に指定しない。						
【参考書】	特に指定しない。						